

令和8年度シラバス（国語） 学番76 新潟県立糸魚川白嶺高等学校

教科(科目)	国語（現代の国語）	単位数	2単位	年次(系列)	1年次
使用教科書	数研出版『改訂版 新編 現代の国語』				
副教材等	数研出版『改訂版 新編 現代の国語 学習課題集 準拠ワーク』, 尚文出版『常用漢字ダブルクリア 五訂版』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	① 地域と連携する活動をととして、地域に愛着を持ち、将来にわたり地域社会に主体的に貢献しようとする姿勢を育成します。 ② 防災減災学習や地域理解学習をととして、地域の課題を自分事として捉え、解決しようとする態度を育成します。 ③ 豊かな心を持ち、思いやりをもって自他を尊重し、国際化に対応したコミュニケーション能力を育成します。
カリキュラム・ポリシー	① 基本的生活習慣を確立させる生徒指導や人権教育、同和教育の推進をととして、規範意識・社会性の涵養、いじめを許さない態度の育成をするための教育活動を展開します。 ② 3年間の系統的で継続的な「白嶺HSJ（ホップ・ステップ・ジャンプ）」プランによるキャリア教育や防災減災学習により、学力向上、進路実現を目指すための指導や取り組みを推進します。 ③ 職業理解、地域理解を深め、地域課題を解決しようとする態度を育成するため、地元の産業界、関係機関等との連携・協働を推進し、地域の復興や活性化に向けた教育活動に取り組みます。

2 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- ① 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
- ② 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- ③ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3 指導の重点

進路希望が多岐にわたっていることから、

- ① 基本的な言語事項の習得を重視し、特に漢字や語彙の確実な習得を目指します。
- ② 文章を的確に理解した上で、自分の感じ方や考え方を確立させることを目指します。
- ③ さらにそれらを的確に表現し、他者と円滑にコミュニケーションを図る態度を目指します。

4 評価の観点の趣旨

a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ 定期考査の分析 ・ 漢字テストの分析 ・ 提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 定期考査の分析 ・ 授業中の発言の観察 ・ 提出物などの内容の確認 ・ ワークシートの記述の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 授業中の発言の観察 ・ 提出物などの内容の確認 ・ 振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。
	各観点 「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」 で評価します。		

6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価の観点と評価方法
4	他者とかかわる	山本貴光 「学び始める春」	・新しいことを始めるコツや失敗について筆者の考えを読み取る。 ・本文をもとに自分の体験を振り返り、話し合う。	4	ワークシート（記述の点検） a, b, c ワークシート（記述の分析） a, b
5	他者とかかわる	田中真知 「風が通るとき」	・他の動物と比較して述べられるヒトの特性について読み取る。 ・筆者が指摘する現代の過剰なつながりについて話し合い、他者とのよりよい関係について考える。	5	ワークシート（記述の点検） a, b, c ワークシート（記述の分析） a, b 発表の様子（行動の観察） b, c
	定期考査			1	定期考査（記述の確認） a, b
6	対比を読み取る	山崎正和 「水の東西」	・二つの文化の比較を通じて、それぞれの特徴を浮き彫りにしようとする筆者の思考をたどる。 ・日本と西洋の感じ方の違いが表れているものを取り上げて考察する。	6	ワークシート（記述の点検） a, b, c ワークシート（記述の分析） a, b,
	対比を読み取る	日高敏隆 「里山物語」	・二つの文化の比較を通じて、それぞれの特徴を浮き彫りにしようとする筆者の思考をたどる。 ・日本と西洋の感じ方の違いが表れているものを取り上げて考察する。	6	ワークシート（記述の点検） a, b, c ワークシート（記述の分析） a, b ワークシート（基礎知識の確認） a, c
	定期考査			1	定期考査（記述の確認） a, b
	社会の中で生きる	鴻上尚史 「目指す世界の地図を作る」	・「地図を作る」という比喻にこめられた筆者のメッセージを読み取る。 ・本文中の表現について、筆者の意図やその効果を考える。	5	ワークシート（記述の点検） a, b, c ワークシート（記述の分析） a, b ワークシート（作文の分析） a, b, c
7	言葉の働きをとらえる	松井智子 「世間話はなぜするか」	・他者との関係において、世間話や挨拶はどのような意味を持つと述べられているかをつかむ。 ・日常的な言葉のやりとりに着目し、その背景にある知識や話し手の含意を読み取る。	6	ワークシート（記述の点検） a, b, c ワークシート（記述の分析） a, b
	定期考査			1	定期考査（記述の確認） a, b
8 9	考えを表現する	半沢幹一 『羅生門』の最後の一文」	・『羅生門』の批評文を参考にして、自分が好きな作品の批評文を書く活動につなげる。	6	ワークシート（記述の点検） a, b, c ワークシート（作文の分析） a, b, c ワークシート（基礎知識の確認） a, c
10					

11	情報と向き合う	戸谷洋志 「SNSに偶然はあるのか」	・SNSについての文章を読み、筆者が問題提起していることを考える。 ・本文をもとに自分たちは情報とどのように向き合うべきかをまとめ、発表する。	6	ワークシート（記述の点検） a, b, c ワークシート（記述の分析） a, b ワークシート（作文の分析） a, b, c
	12	定期考査		1	定期考査（記述の確認）a, b
	1	筆者の主張を理解する	松村圭一郎 『異文化を理解する』とは	7	ワークシート（記述の点検） a, b, c 発表の様子（行動の観察） b, c ワークシート（基礎知識の確認） a, c
		筆者の主張を読み取る	梶井厚志 『わらしべ長者』の経済学	8	ワークシート（記述の点検） a, b, c ワークシート（記述の分析） a, b ワークシート（作文の分析） a, b, c
	3	定期考査		1	定期考査（記述の確認）a, b
		社会の中の文章	「適切な書式で通知する」	6	ワークシート（記述の点検） a, b, c 発表の様子（行動の観察） b, c

計 70 時間（50 分授業）

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A「話すこと・聞くこと」	B「書くこと」	C「読むこと」
	23時間	30時間	17時間

※ 増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

7 課題・提出物等

- ・各単元のはじめに語句調べの課題に取り組み、提出し点検を受けます。
- ・各単元が終了した際に、副教材「学習課題集」に取り組み、提出し点検を受けます。
- ・各定期テストの際に、ノートを提出し点検を受けます。
- ・長期休業中の課題は別途指示します。
- ・漢字の小テストの際に、副教材「常用漢字ダブルクリア」を提出し点検を受けます。

8 担当者からの一言

「現代の国語」は「言語文化」とあわせて、すべての国語の教科の基礎となる科目です。漢字や語句を丁寧に習熟し、確かな基礎力を身に付けましょう。そのために、教科書をしっかりと読む、授業をしっかりと聞く、ノートをしっかりとするという当たり前のことを大切にしてください。また、漢字の小テストに向けた取り組みも評価の対象となります。一年間、意欲を持って皆さんが取り組んでくれることを期待します。（担当：岡本・山下）